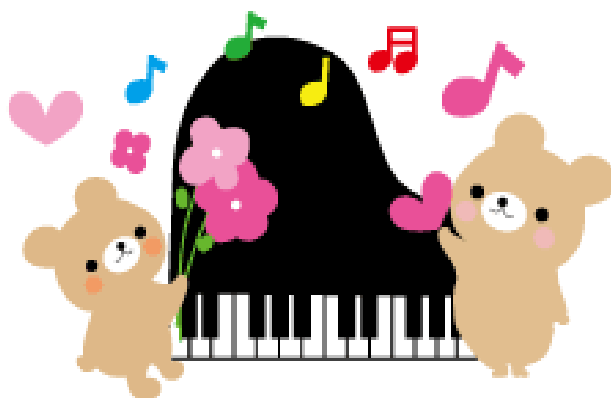


松島町子育て環境整備5力年計画

(案)



町民福祉課福祉班

平成26年1月29日

〈目次〉

I 計画の趣旨等

- 1, 趣旨
- 2, 位置づけ
- 3, 期間

II 現状

- 1, 出生率の低下
- 2 年齢別・施設別一覧
 - (1) 乳幼児数
 - (2) 小学校児童数
 - (3) 幼稚園児童数
 - (4) 保育所入所者数
 - (5) 一時預かり保育利用者数
 - (6) 留守家庭児童学級利用者数
 - (7) 子育て支援センター利用者数

III 5つの柱

- 1, 認定こども園
- 2, 保育所のあり方
- 3, 児童館事業
- 4, 公園整備
- 5, 子ども子育て新制度

1 計画の趣旨等

1, 趣旨

「松島町次世代育成支援行動計画」に基づき、特に重要と考える計画内容をより具体化し、次代を担う子どもたちが健やかに生まれ育ち、より良い環境で子育てできるよう、集中的・計画的に推進する取り組みを明らかにするものである。

なお、今後策定予定の「松島町子ども・子育て支援事業計画（案）」と整合性を図ることとする。

2, 位置づけ

当該計画は、次世代育成支援行動計画を否定するものではなく、むしろ、より詳細な計画として重点的に進めるべき施策を定めるものである。重点施策として「5つの柱」を定め事業実施していくものであり、重点施策を進めることにより他の関連事業も連動し進捗していくものとする。

3, 期間

期間は5年を目標とし、平成30年までにおおよその事業を完了させる。



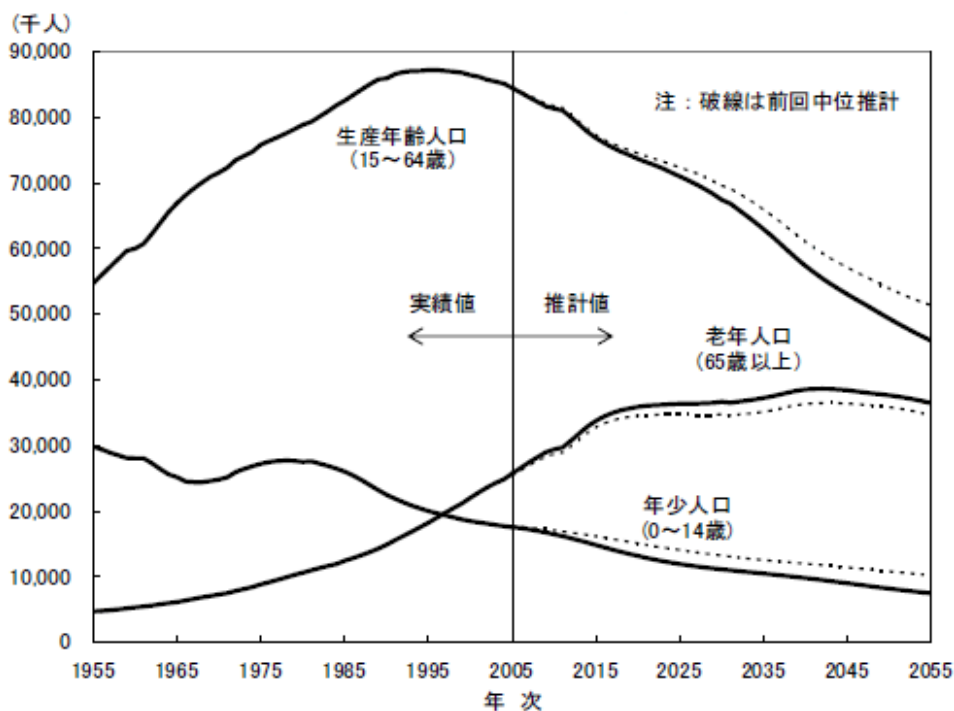
II 現状

1 少子化の進行

近年、我が国では急速な少子化が進んでおり、厚生労働省の「人口動態統計」によると、平成23年の出生数は、105万人台と減少傾向にあり、平成14年の117万人から12万人減少している。

また合計特殊出生率（女性が一生の間に生む子どもの数を示す値）も1.35と過去最低であった平成17年のレベルからは上昇しているものの、依然低い水準で推移している。国立社会保障・人口問題研究所が発表した日本の将来推計人口（平成18年12月推計）平成17（2005）年～67（2055）年においても年少人口の減少は著しく、少子化に伴う生産年齢人口についても今後急速に減少していく見込みとなっている。

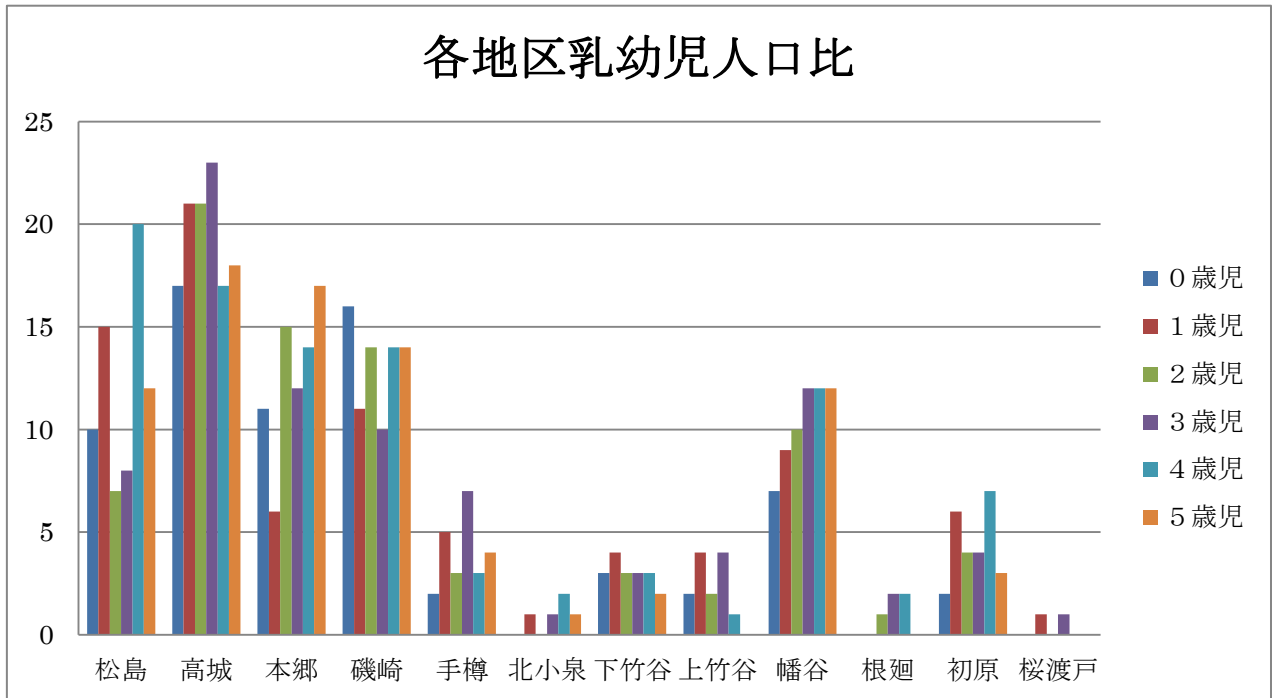
年齢3区分別人口の推移 —出生中位(死亡中位)推計—



2 年齢別・施設別一覧

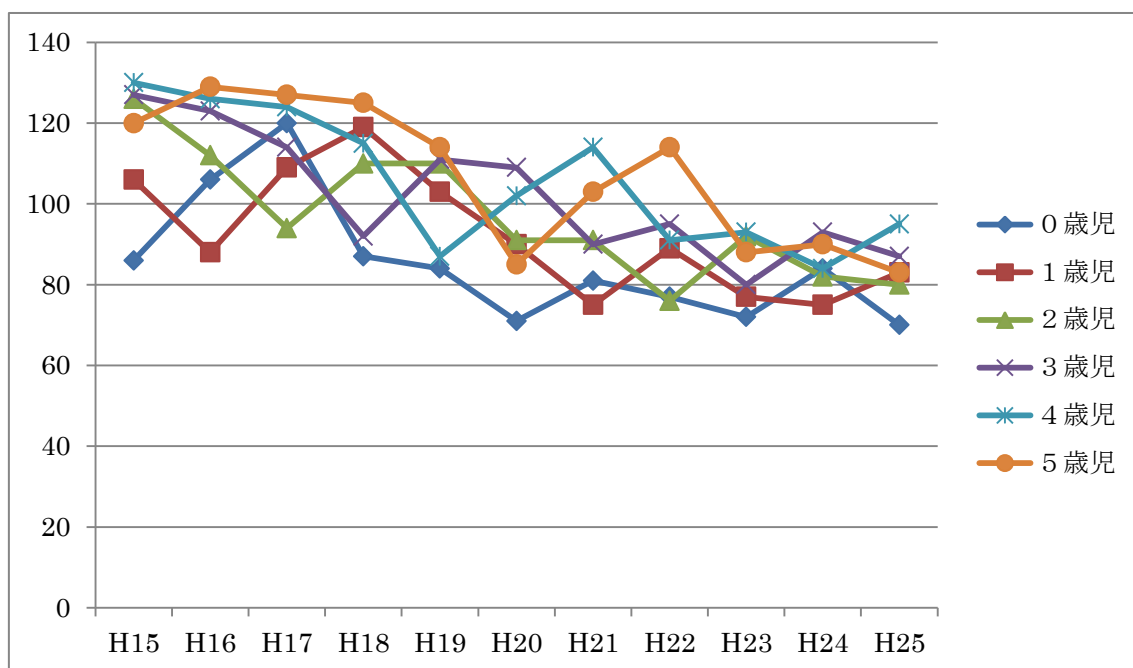
(1) ①乳幼児（0歳～5歳）数：498人（H25・4・1）

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
松島	10	15	7	8	20	12	72
高城	17	21	21	23	17	18	117
本郷	11	6	15	12	14	17	75
磯崎	16	11	14	10	14	14	79
手樽	2	5	3	7	3	4	24
北小泉	0	1	0	1	2	1	5
下竹谷	3	4	3	3	3	2	18
上竹谷	2	4	2	4	1	0	13
幡谷	7	9	10	12	12	12	62
根廻	0	0	1	2	2	0	5
初原	2	6	4	4	7	3	26
桜渡戸	0	1	0	1	0	0	2
計	70	83	80	87	95	83	498



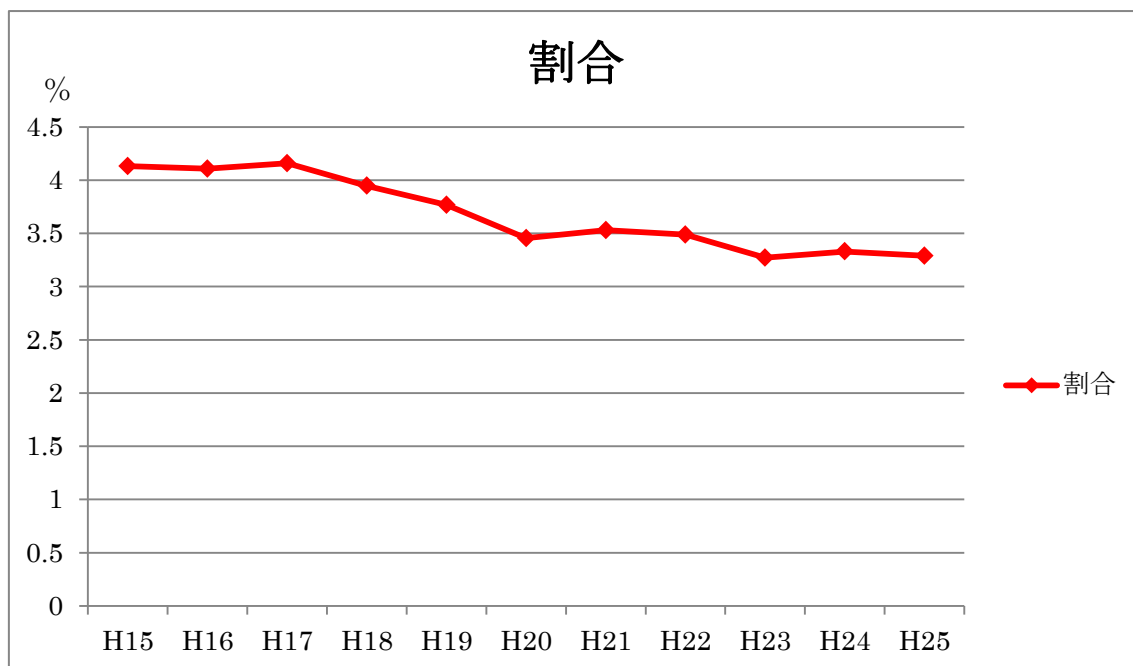
②乳幼児数推移比較 (H15～H25)

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
H15	86	106	126	127	130	120	695
H16	106	88	112	123	126	129	684
H17	120	109	94	114	124	127	688
H18	87	119	110	92	115	125	648
H19	84	103	110	111	87	114	609
H20	71	90	91	109	102	85	548
H21	81	75	91	90	114	103	554
H22	77	89	76	95	91	114	542
H23	72	77	92	80	93	88	502
H24	84	75	82	93	84	90	508
H25	70	83	80	87	95	83	498



③乳幼児数・人口割合（H15～H25）

	乳幼児合計①	全人口②	割合（②／①）
H 1 5	695	16,819	4.132 %
H 1 6	684	16,649	4.108 %
H 1 7	688	16,542	4.159 %
H 1 8	648	16,420	3.946 %
H 1 9	609	16,168	3.767 %
H 2 0	548	15,863	3.455 %
H 2 1	554	15,694	3.530 %
H 2 2	542	15,540	3.488 %
H 2 3	502	15,340	3.272 %
H 2 4	508	15,255	3.330 %
H 2 5	498	15,141	3.289 %



(2) 小学校児童数：610人 (H25・12・1)

施設名	人 数							
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別	計
第一小学校	49	56	55	72	56	69	5	362
第二小学校	23	21	38	24	22	26	4	158
第五小学校	15	9	20	14	15	14	3	90

(3) 幼稚園児童数：98人 (H25・12・1)

施設名	人数
第一幼稚園	50
第二幼稚園	31
第五幼稚園	17

(4) 保育所入所者数：186人 (H25・12・1)

施設名	人 数						
	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
高城保育所	9	15	15	17	18	15	89
高城保育所分園	0	1	2	10	5	4	22
松島保育所	4	4	3	4	10	4	29
磯崎保育所	7	7	10	8	7	7	46
合計	186		定員	269		充足率	69%

基本保育 午前8時～午後4時

延長保育 午前7時30分～午前8時、午後4時～午後6時

特別延長保育 午前7時～午前7時30分、午後6時～午後7時（高城保育所のみ）

夜間の特別延長保育は2,000円の利用料

(5) 一時預かり保育 (H25・12・1)

施設名	登録児童数	利用児童数		人 数					
		半日	一日	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
磯崎保育所	21	17	19	9	16	8	0	3	36

入通院、介護、冠婚葬祭やリフレッシュ、ボランティア活動等で一時的に預かる事業。町内に住んでいる1歳から就学前の児童が対象となる。

半日1,000円、一日2,000円、給食利用で300円の利用料である。

(6) 留守家庭児童学級：登級日数（平成25年度）

	たんぼぼ（一小）		ひまわり（二小）		どんぐり（五小）		合計	
	日数	児童数	日数	児童数	日数	児童数	日数	児童数
4月	24	729	16	224	15	112	55	1,065
5月	23	757	19	287	20	155	62	1,199
6月	22	667	19	301	20	156	61	1,124
7月	26	871	14	236	14	101	54	1,208
8月	23	693	5	86	6	28	34	807
9月	23	633	18	286	19	138	60	1,057
10月	24	697	20	316	19	171	63	1,184
11月	23	643	19	281	20	175	62	1,099
12月	23	635	15	186	15	132	53	953
計	211	6,325	145	2,203	148	1,168	504	9,696

※登録者数

施設名	1年	2年	3年	合計	登級平均 (児童数計/日数計)
たんぼぼ（一小）	20	16	18	54	29.9
ひまわり（二小）	5	8	6	19	15.1
どんぐり（五小）	3	6	3	12	7.8
合計	28	30	27	85	19.2

(7) 子育て支援センター利用者数（平成25年度）

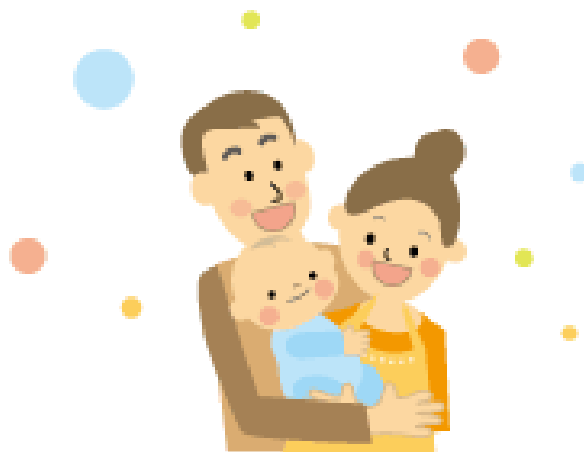
月	人数
4月	480
5月	630
6月	581
7月	700
8月	357
9月	293
10月	564
11月	521
12月	441
計	4,567

あそびの広場（のびのび、ベビー、すくすく）、親子教室（読み聞かせ、工作、リズム、ひよこ、ぱんだ）、その他イベントの参加者数合計

※町内の育児サークル

サークル名	活動日	場所	会費
どんぐりクラブ	火曜日 10:00～	本郷ふれあいセンター	月500円
ピーターラビット	水曜日 10:30～	垣ノ内集会場	1回100円 おやつ代1回100円
ひばりキッズ	木曜日 10:00～	華園集会場	1回100円 おやつ代1回100円

親子で集まりサークル毎に活動する。主に午前中の活動で、おもちゃ遊び、誕生会、遠足などを行っており、月ごとに活動内容を決める。要請があれば保健福祉センターの歯科衛生士や子育て支援センター職員が訪問する。



III 5つの柱

重点施策として5つを推進する。

1, 認定子ども園

2, 保育所のあり方

3, 児童館事業

4, 公園整備

5, 子ども子育て新制度

1, 認定子ども園

(1) 幼保一元化

現状のままの保育所数では、維持費、保育の質の維持、少子化への対応など難しい部分がある。幼保一元化を進め、「認定こども園」構想も具体化させていく。子ども子育て新制度の内容に影響されるが、松島町としてどう考えるのか、教育委員会とも連携し進めていく。

(2) 認定こども園の数

その施設数は、町内1箇所、北部と南部で2箇所などの案がある。また公設公営、公設民営、民設民営など様々な形態を考え、利用者のニーズにあった施設とする。

(3) 幼稚園との関連性

認定こども園だけなのか、こども園と幼稚園の並立とするのか、新築予定の第五幼稚園の位置づけなど、教育委員会と協働で進める分野も多く、連携を密にするものである。

幼稚園を残すのであれば3年保育を検討する。

2, 保育所のあり方

(1) 今後の保育所数

現在の4保育所体制での運営を検討する。もちろん4保育所が最適となれば現状維持だが、各施設の老朽化、入所児童の減少など問題が多くある。特に松島保育所は今次津波による浸水区域であり、また白蟻被害も認められた施設である。

統合となれば、何カ所にするのかも検討する。

(2) 保育所の場所

保育所統合を考えると、その建設場所選定も難しい。何カ所にするかにもよるが、災害対応、保護者の利便性、今後のまちづくりも考慮する必要がある。

(3) 少人数保育への対応、保育士の確保

現在の保育所では、充足率が低く、異なる年齢をまとめた保育が行われている。また、正職員と臨時職員の比率も正職員が非常に少ない状態である。

(4) 保護者の仕事の多様化に対する対応

保護者の就業形態は多様化し、一時保育事業は実施済ではあるが、夜間保育、休日保育、病児・病後時保育を検討する。また、他自治体住民の保育受け入れの相談もあることから、協定締結のうえ、勤務地が本町にある等の場合の受け入れも検討していく。

3, 児童館事業

(1) 児童館運営

本町では児童館は初めての施設であり、運営ノウハウは無い状態である。施設ができて終わりではなく、行事など運営が重要であることから、指定管理者や業務委託も含め検討する。

(2) 子育て支援センター

現在どんぐりで行っている子育て支援センター事業は、児童館完成後はそこで行う。児童館を松島町の子育て拠点と位置づけ、より効果的な運営を行う。次世代育成行動支援計画策定時に寄せられた要望にも、子育て支援センターの充実や場所が遠いなどがあつた。

(3) 留守家庭学級

現在は教育委員会で事業実施しているが、児童館開設にあわせ、福祉班の業務として児童館での実施を検討する。平常時は各小学校（一小は母子健康センター）、土曜日及び長期休暇時は母子健康センター1箇所で開催しているが、児童館の規模から考えると長期休暇等も各小学校で行うことも検討する。

4, 公園整備

(1) 遊び場の確保

震災の影響もあり、子どもたちの遊びの場が少なくなった。城内地区や三居山地区に防災広場として事業を進めているが、遊具を配備して児童公園機能も持たせる計画としているので、新たな集いの場として子どもたちに場所を提供する。

(2) 世代間交流

子どもから大人、老人までが集う場所であり、世代を超えた交流が図れる。よって地域内の交流の場所としても多くのメリットが見込める。

5, 子ども子育て新制度

(1) 子ども子育て会議

平成25年度中に条例制定し、会議を設置する。

(2) 子ども子育て支援事業計画策定、ニーズ調査

地域の保育需用を踏まえた事業計画を策定する。策定に当たり、子育て支援に関する町民ニーズを調査するアンケートを実施する。